

奈良県指定文化財調査票

調査日	2020 年	11 月	5 日	記入者	橋詰 輝己
調査者名	石井	中西	橋詰		

文化財名	浄鏡寺(じょうきょうじ)旧境内のアスナロの群落				
種類	<input type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input checked="" type="checkbox"/> 天然記念物	<input type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ( )
指定年月日	1961年(昭和36)3月14日				
所在地	桜井市笠(字千森)877番地				
所有者 管理者	個人				
員数	10アール				
時代区分					
樹木の場合	(樹木名) アスナロ			(樹齢)	
案内板の状況	浄鏡寺(じょうきょうじ)旧境内には説明板はある				
公開	見学は自由				
保存状態	<input type="checkbox"/> 非常に良い	<input type="checkbox"/> 良い	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い
	補足(浄鏡寺境内周辺に数本は確認されるがいずれも大木で薄暗い森となっている)				
当面の課題	浄鏡寺旧境内にはアスナロ群落の説明板がある。ただアスナロ群落に行く道に案内板がないため調査するのに一苦労であった。案内板の設置を望む。				
今後の課題	個人所有地なので特に手入れも難しく現状維持。				
その他 (由緒など)	標高500m。現在浄鏡寺自体は全くなく寺跡と思われる場所には、数多くの墓石が立ち並んでいる。同じ場所に春日大明神が祀られ現在も村の鎮守とされている。群落にはスギ・ヒノキ・ヤブツバキ・ツクバネガシに交じって数本のアスナロが見られた。浄鏡寺名は笠荒神の御由緒に竹林寺などと共に名前が連なっている。				
コメント	アスナロ自体は(明日はヒノキになろう)と言われているくらいしか全く知らなかった。事前にアスナロの葉などを調べていたのでヒノキとの違いがおおよそ検討はついていたが、実際アスナロの枝葉を見るとヒノキより大きかった。「所属はヒノキ科アスナロ属で日本特産の針葉高木であり、北は青森から南は鹿児島に分布する。用途は建築材・器具材・防風樹・庭園などに用いられる。ヒノキアスナロは青森で産出される木材は青森ヒバと呼ばれ木曾ヒノキ・秋田スギと共に日本三大美林に制定されている(フリー百科事典参照)。」				

奈良県指定文化財調査票(写真)

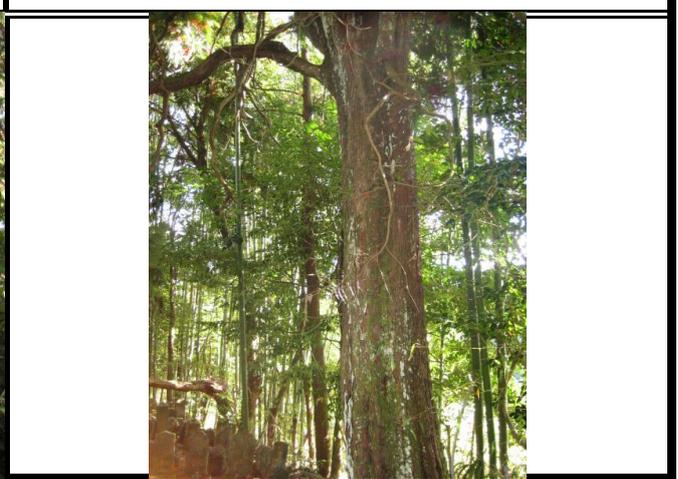
調査日	2020 年	11 月	5 日	記入者	橋詰 輝己
調査者名	石井	中西	橋詰		

文化財名	浄鏡寺(じょうきょうじ)旧境内のアスナロの群落
------	-------------------------

人家も少なく道には目印となる案内板が無い	境内に立つアスナロ群落の説明板
----------------------	-----------------



境内内にスギ・ヒノキに交じってアスナロの木も見られる	大木になっているアスナロの木(幹周3m・樹高20m)
----------------------------	----------------------------



アスナロの葉(上:表 下:裏)

アスナロの葉

